

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着の意義を踏まえた理念を掲げている。理念は玄関や食堂や廊下に掲示して毎日のリハビリ体操時スタッフと利用者様一緒に理念を唱和しその理念を元に日々のケアを実施している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域や小学校から行事の招待を頂き参加したり苑での行事への参加を呼びかけている。小学校・保育園・踊りのボランティアの参加にて交流を深めている。近隣の方から野菜を頻繁に頂いている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	認知症ケアの専門として地域住民の方々との交流の中で支援策等を話したりグループホームの役割・認知症について理解して頂けるよう説明等行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に行政や地域関係機関・各ユニット毎の家族代表の参加を頂き運営推進委員会を開いている。ホームの状況や評価への取組等報告している。また行政より情報を頂いたり質問や相談に対応して頂きサービスの質の向上に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	市町村担当者に行事への参加をお願いし苑での取組等を報告したり情報等を頂き質問や相談にのって頂き又、生活保護受給者の方への面談も年に数回あり担当者との協力関係を築くように取り組んでいる。		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	身体拘束による弊害を職員全員が理解し日々のケアの中で身体拘束になる声かけがない様注意し玄関を出られる時は一緒に付き添う等し利用者の行動を抑制しないケアに取り組んでいる。		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	全スタッフが日常何気なく使っている言動の中で虐待がないかお互い気を付け注意するよう努めている。又、職員会時 etc 勉強会も行い防止に努めている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	権利擁護について学習・理解し個々の必要性を関係者と話し合い必要な時に活用できるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には受診体制・入居費やその他の費用等あらゆるリスクや利用者様の状態変化による契約解除に至る場合も含め十分な説明を行い家族からの不安や疑問点などを尋ね決定・同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様の訴えや意見・不満・苦情に耳を傾けミーティング申し送り等で話し合い改善している。また家族にも気兼ねなく不満や苦情が言えるように面会時や家族参加の行事の食事の際に意見を伺っている。また無記名のアンケートを作り回答して頂き改善出来ることは改善し改善出来ないことは改善を思案し運営に反映させている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の生活の中や月1回の職員会議の中で意見や要望を出し、代表者や管理者に伝えたり年末の忘年会等に意見を出し運営に反映させている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得に向けた声かけ支援を行い研修会への参加を呼びかけ各自が向上心を持って働けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>スタッフの経験や力量を把握し研修会への参加を呼びかけ参加してもらい又月1回の職員会議等で勉強会を行い自らの向上に向けて行けるよう働きかけている。又、資格取得に向けた支援を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域密着型事業所の連絡会の中で学習会に参加したり近隣のグループホームとの交流があり相談や苦情交換を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	時前に必ず本人と家族と面談を行い身体状態・生活歴・心配事や要望に耳を傾けながら安心して生活できるように努めている。又入居前は苑内見学をして頂き納得・安心されてから入居して頂けるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	時前に家族と面談し不安や困っている事や要望に耳を傾けながら家族の思いをしっかり受け止め信頼関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族が「一番困っている事は何か」必要としている支援を見極め他のサービス利用を含めた対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は利用者様と一緒に過ごす事により教えて頂く事も多く人生の大先輩として尊敬もしている。暮らしを共にする者同士と位置付け互いに支え合いながら安らげる関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の日々の生活の状態・変化等を毎月報告しお互いに情報を共有して家族と同じ思いで一緒に支えていく気持ちであるということを理解して頂けるように関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	かかりつけ医の通院や往診を受けながら馴染みの人との交流の場を設けている。知人や友人の面会もあり電話をかけて面会をお願いしたり地域の催し物に出かけ顔なじみの方との交流も行っている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様個々の性格や心身の状態を十分に把握しながら一人ひとりが孤立しないように観察し利用者様同士の関係が上手くいくように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や他の施設へ移られた方の家族に状況を聞いたりして見舞いや面会に出かけている。相談の支援も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりゆっくり話をし利用者様の思いや意向の把握に努め、いつも笑顔で優しい介護で本人の思いに寄り添っている。家族の面会時家族の意向も伺っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に本人・家族にこれまでの生活歴を伺い入居後も本人・家族・知人の面会時に情報収集し支援に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活やリズムやその方の心身状態に合わせ無理のない充実した日が過ごせるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の意向や要望を尊重し毎月のケア会議で話し合い主治医や関係者の意見を反映した介護計画を作成している。3ヶ月に1回のモニタリングを行い一年毎に介護計画の見直しをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録に食事・水分量・排泄・バイタル・その日の様子を日中・夜間帯に分け記録している。介護計画に沿った記録をし情報を共有、日々の変化を評価しながら介護計画の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様や家族の状況に応じた一人ひとりのその時のニーズに対応し既存のサービスに捉われない柔軟な支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の小学校の行事や苑の行事に参加したり又地域の方に苑の行事に参加して頂き交流を深めている。民生委員や地域の代表者・駐在所にも声をかけを行い推進委員として参加して頂き協力・支援頂けるように取り組んでいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の納得が得られた協力医の受診になっている。家族が付添いの際は本人様の様子・状況を家族に伝え家族が付き添えない場合はスタッフが同行し受診・介護記録に残し結果は電話や毎月の家族宛の手紙にて報告している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員は利用者の心身状態の変化に気づいた場合、看護職員や訪問看護等に伝え相談し病院受診が必要な時は速やかに受診し必要な看護を指示通り支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	家族を交えて担当医と話し合い、苑での対応可能な段階でなるべく早期退院が出来るよう取り組んでいる。入院時には苑での状態を病院へ情報提供すると共に職員も見舞いに行き状態を見守っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事業所が対応できる支援方法とケアについて家族に説明を行っている。状況の変化を常に家族に報告・相談しながら家族の意向を確認し家族・主治医・訪看と連携を取りながら苑でできる事、できない事を話し合い支援している。特に家族の考えを確認し方向性を共有し最大限の看取りケアを行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修会に参加したり訪看による勉強会や自施設で勉強会を行い必要時に備え実践力を身につけている。緊急マニュアルを作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>スプリンクラー・自動通報システムは設置済みで備蓄も確保されている。消防署や火災報知等設備会社の協力を経て通報訓練・避難訓練・消火訓練を日勤夜間帯を想定して実施している。玄関に防災頭巾も準備している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシー保護の勉強会を行い一人ひとりの人格を尊重し誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや入浴・排泄時での羞恥心への配慮に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	起床時間・就寝時間・食事・服装等日常生活の中で本人の希望を聞きながら自己決定できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の生活の流れを職員の都合に合わせて事なく一人ひとりの体調・希望・思いを大切に、その日をどのように過ごしたいか言葉かけを行い柔軟な支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自分で洋服を選んで頂いた時にアドバイスを行い納得される支援を行っている。本人の希望に合わせてスタッフにて散髪・顔そり・お化粧品等の支援をしている。		
		○食事を楽しむことのできる支援	利用者様の希望を取り入れながら献立を作成し味見・下ごしら		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	えと一緒にしている。誕生日季節毎の行事には、その方の好み・要望に添ったメニューを作っている。食後テーブル拭きをして頂いている。昼食はスタッフと一緒に会い会話や笑いの絶えない食事時間となっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の食事・水分摂取量をチェックし記録表に記入している。一人ひとりの状態に応じ量や味付・形態に配慮している。水分量や食事量の少ない方に対しては代替品や本人の好みの飲み物を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの重要性をスタッフ全員が理解しており一人ひとりの状態に応じた口腔ケアを毎食後確実に支援している。週一回薬剤による義歯洗浄を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握しトイレでの排泄を基本として声かけの工夫を行い自分で出来る事はして頂けるように支援を心がけている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や及ぼす影響をスタッフは理解しており食事の中で水分補給や食物繊維・乳製品が摂取できるように努めている。またリハビリ運動や歩行によって自然排便ができる様に取り組んでいる。困難な方には主治医と相談し投薬による排泄支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	温泉を引いてあり週3回の入浴が基本であるがその時の体調や状態に応じた支援をしている。入浴順番や湯加減等一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるような支援をしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣に合わせた日中活動をして頂くがその時々状況に合わせて休息の声かけをしている。特に夜は安心して休んで頂けるように就寝時間は個々に合わせている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの服薬の種類・効能・副作用・用法や用量を個人別に記録し対応している。特に薬の変更や臨時薬に対しては誤薬のないようにスタッフ全員で共有し再々の確認を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの状態に応じ出来る事（掃除・洗濯物たたみ・食事の片付け・ペーパー折等）して頂き感謝している。本人様たちも役割を持つ喜びが持てるように支援している。晴天時は外気浴や散歩等気分転換の支援を行っている。		
		○日常的な外出支援	一人ひとりの体調に合わせて天気の良い日に季節の花見・買い物		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	の支援をしている。本人様の希望に添って家族や知人の協力を頂き自宅や買い物に出かけられるように支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりの希望や能力に応じてお金を自分で管理し外出時買い物をする。又苑で預かっている方でも希望があれば一緒に買い物支援し自分で支払をして頂いている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人の希望で電話をかけたり取り次いだり支援している。又年賀状や暑中見舞いに一言直筆にて書いて頂く支援をしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールや廊下には季節を感じさせる花や飾り物をしている。ホールや各居室にはテレビや音楽が流れ会話や笑い声が絶えない。台所からは食事の準備の音や匂いがし生活感が溢れている。お風呂は温泉でゆったりとした気分に入浴して頂いている。		
		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり	玄関内外に椅子やソファを置き一人でくつろがれたり利用者		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	同工外気浴や話を楽しめるように工夫している。又いつでも居室へ帰る事ができ一人の時間等を過ごせる様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	畳やフローリングの部屋がある。ベッドは備付けでその他の家具や雑用品・電化製品は持ち込み可能で一人ひとりの好みで自宅におられる様な雰囲気作りの工夫をしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの身体機能にあったベッドの高さにしベッド柵や手すりを取り付け安全に自立した生活が送れるようにしている。居室入口には表札があり共用の空間には目印をつけ不要な物を置かないようにしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない